

## ディボーション質問表

### (月) ローマ人への手紙 6：15～23

再びパウロは、14節の言葉が恵みの中にいるのだから、好きなだけ罪を犯してもよいと誤って理解されていないか心配でした。

1. 私たちは、律法の内になかったときのように、罪の中に生き続けることができるのでしょうか？ それはなぜですか（15～16節）？ 罪から解放された後、私たちは何の奴隷になったのでしょうか（18節）？
2. 義の奴隷になった私たちは、罪に対して続けて自由になるために、何をすべきですか（17～19節）？ 罪の奴隷であった私たち（イエスを信じる前の自分）に、何が起こりましたか（20～23節）？
3. 私たちが義の奴隷であることをいつも覚えていることによって、私たちは罪に対して、安定して勝利することができます。義が私たちを完全に支配下に置くまで、義に服従し続けてください（このディボーションを習慣化することです）。

### (火) ローマ人への手紙 7：1～12

私たちは律法に戻るべきではありません。私たちは今、新しい契約の中に生き、歩んでいるのです。

1. 人は救われる前、律法の妻であったと言っています。私たちが律法の妻であったとき、どのような状態でしたか（1～3節）？
2. 私たちを律法から自由にするため、キリストは何をしてくださいましたか（4節）？
3. 律法の役割とは何ですか（6～7節）？ もし、人が律法に従おうとするなら、何が起きますか（8～11節）？ 律法は悪いものなのでしょうか（12節）？ 律法とは何か違反かを知らせる信号のようなもので、私たちの運転そのものを手助けしてはくれないのです。また、律法はどこが悪いかを見つけるのが得意な診断専門医のようなもので、決して治療はしてくれないのです。ですから私たちを治療することのできる専門医が必要なのです。

### (水) ローマ人への手紙 7：13～26

律法と離婚したということを知らない人々は、時々、前の夫である律法とヨリを戻そうと試みます。そうするとき、何が起きるでしょうか？ 激しい罪との葛藤が起こるのです。

1. よい律法が、なぜ死（まひ状態）をもたらすのでしょうか（13～14節）？
2. ここでパウロは2つの矛盾した存在を示しています。“わたし”と“わたしの中の罪”です。“わたし”と“わたしの中の罪”に何が起きましたか（15～21節）？ それはなぜですか（22～23節）？
3. パウロは自分をどのような人間として描写していますか？ 解決は何でしょうか（24～26節）？  
→パウロは解決方法を詳しく述べてはいません。ただ、“イエス・キリストによって”とだけ言及しています。解決の詳細は8章にあります。

### (木) ローマ人への手紙 8：1～17

ローマ人への手紙5～8章では、キリストが4つのものから私たちに自由にしたのを見ることができます。

- ・神の怒り（5：1～21）
  - ・罪深からだ（6：1～23）
  - ・律法（7：1～26）
  - ・肉の死（8：1～17）
1. 罪の律法に対する激しい苦闘のゆえに、パウロは新しく生まれることが意味のないことのように感じていました。彼はまだ神の怒りの中にあるように感じたのです。神様はどのようにしてパウロを慰めたのでしょうか（1節）？
  2. 罪と死の律法から自由にされる解決方法とは何でしょうか（2節）？ なぜそうなのでしょう（3～4節）？ 罪と死の律法は、風船を地上に落とそうとする重力の法則のようなものです。どのようにして、変わらない重力に勝つことができるのでしょうか？ 私たちの不安定な手で押さえるのではなく、風船の中にヘリウムガスを満たすことによってです。それが、風船をいつまでも浮かせ続けることのできる、御霊の律法の作用なのです。ですから、御霊の律法によらなければ、罪と死の律法を敗北させられないのです。
  3. 御霊に従って歩むとはどういうことか発見しましょう（5～17節）。熟考し、実践しましょう。

### (金) ローマ人への手紙 8：18～39

私たちが御霊によって歩んだとしても、イエス様が来られるまでは、罪と死の律法と戦うことになるでしょう。

1. 私たちの苦しみに対する励ましは何でしょう（18節）？ なぜですか（19～22節）？ イエス様が来られ、神の子どもとして引き上げられる私たちに何が起きますか（23～25節）？
2. 私たちが苦しみの中で弱いとき、聖霊様は何をしてくださいますか（26～27節）？
3. 望まないことや、予期していないことが起きて混乱したとき、何が最も私たちを強めますか（28節）？ なぜ、神様を愛する人にとってすべてが益となるのでしょうか（29～30節）？ 神様は、私たちに神の子どもとして、また選ばれた者として、どのような保証を与えておられますか（31～39節）？

### (土) ローマ人への手紙 9：1～13

9章から11章では、ユダヤ人と異邦人の関係と神様の壮大な計画について書かれています。

1. イスラエルとは、誰のことですか？ パウロは自分の同胞に対してどのような重荷を抱いていましたか？
2. イスラエル（ヤコブ）の子孫が皆、イスラエル人であり、神の選びの民ですか（6～8節）？ 何に基づいて神様は人を選ばれるのでしょうか（9～13節）？